

TOYOから世界へ挑戦

## 東洋大学と東京大会

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が、新型コロナウイルスの蔓延による1年の延期を経て2021年7月23日より開催される予定です。コロナ禍のためさまざまな制約がある中での開催となりますが、本学からも在学学生や卒業生が選手として出場予定です。コロナ対策に配慮し、応援をお願いします。

## オリンピック競技大会

2021年7月23日～8月8日  
33競技・339種目・42会場で開催

## パラリンピック競技大会

2021年8月24日～9月5日  
22競技・539種目・21会場で開催

OLYMPICS &amp; TOYO UNIVERSITY

## TOYO SPORTS VISION

本学では2016年に『TOYO SPORTS VISION』を掲げ、「スポーツを『哲学』し、人と社会と世界をむすぶ。」の理念のもと、スポーツとの有機的な関係性を構築しています。今回の東京大会は一つのきっかけであり、これは閉幕後も継続していくものです。本学とオリンピック・パラリンピックの歴史は、1964年に開催された前東京大会で東洋大学短大観光科の学生が代々木の選手村食堂で食券係や配膳サービスなどを担当し、自動車部が選手たちの選手村と競技会場間の車輸送を補助したことにはじまります。本学関係者初のオリンピック選手は、同大会陸上3,000m障害の奥沢善二さんでこれまでにのべ30名以上の選手が出場。多くのメダリストが誕生しました。今大会においても本学在学学生ならびに卒業生日本代表選手の活躍が期待されます。

## TOYO SPORTS VISION

スポーツを「哲学」し、人と社会と世界をむすぶ。

1. スポーツを「する」人「みる」人「ささえる」人の育成
2. スポーツを通じた「グローバル人材」の育成
3. スポーツに関する「学術的アプローチ」の展開
4. スポーツを通じた「地域連携」の促進



## 本学関係者の東京大会出場選手

2021年6月27日時点・氏名50音順

 <p><b>相澤 晃</b> 選手 2020年 経済学部経済学科卒業 競技・種目 陸上競技/男子10,000m 競技日程/7月30日 19:00～21:00</p>	 <p><b>川野 将虎</b> 選手 2021年 総合情報学部総合情報学科卒業 競技・種目 陸上競技/男子50km競歩 競技日程/8月6日 5:30～10:00</p>
 <p><b>青木 玲緒樹</b> 選手 2017年 経営学部経営学科卒業 競技・種目 競泳/女子100m平泳ぎ 競技日程/7月25日～27日</p>	 <p><b>津波 響樹</b> 選手 2020年 ライフデザイン学部健康スポーツ学科卒業 競技・種目 陸上競技/男子走り幅跳び 競技日程/7月31日(予選)、8月2日(決勝)</p>
 <p><b>池田 向希</b> 選手 2021年 経済学部経済学科卒業 競技・種目 陸上競技/男子20km競歩 競技日程/8月5日 16:30～18:05</p>	 <p><b>萩野 公介</b> 選手 2017年 文学部英語コミュニケーション学科卒業 競技・種目 競泳/男子200m個人メドレー、男子4×200mフリーリレー 競技日程/7月27日～28日(男子4×200mフリーリレー) 7月28日～30日(男子200m個人メドレー)</p>
 <p><b>稲葉 将</b> 選手 2018年 国際地域学部国際地域学科 [現・国際学部国際地域学科] 卒業 競技・種目 パラ馬術/個人、団体 競技日程/8月26日～30日</p>	 <p><b>服部 勇馬</b> 選手 2016年 経済学部経済学科卒業 競技・種目 陸上競技/男子マラソン 競技日程/8月8日 7:00～9:45</p>
 <p><b>大橋 悠依</b> 選手 2018年 国際地域学部国際観光学科 [現・国際観光学部国際観光学科] 卒業 競技・種目 競泳/女子200m個人メドレー、女子400m個人メドレー 競技日程/7月24日、25日(女子400m個人メドレー) 7月26日～28日(女子200m個人メドレー)</p>	 <p><b>山口 凌河</b> 選手 2019年 社会学部社会福祉学科卒業 競技・種目 パラ球技/男子ゴールボール 競技日程/8月25日 対アルジェリア(予選) 27日 対アメリカ(予選) 8月28日 対リトアニア(予選) 29日 対ブラジル(予選) 8月31日 準々決勝 9月 2日 準決勝 3日 決勝、3位決定戦</p>

※最新の情報は以下Webサイトをご確認ください。

## 東洋大学 オリンピック・パラリンピック連携事業特設Webサイト

本学が取り組む活動やオリンピック・パラリンピックを一層楽しめるコンテンツなどを公開。

## コンテンツ紹介(一部抜粋)

- 妖怪 meets SPORTS
- オリパラニュースレター「2020×TOYO」
- 東洋大学オリパラ観戦ガイド
- 東洋大学とオリンピックの歴史
- 「する」×「ささえる」INTERVIEW
- 過去大会の出場選手

東洋大 オリパラ 検索



TOYOから世界へ挑戦

## 在学出場選手 INTERVIEW



/RIO SHIRAI

## 白井 璃緒 選手

兵庫県立宝塚東高等学校卒業  
国際観光学部国際観光学科 4年

競技・種目 競泳/女子4×200mフリーリレー

競技日程/ 7月28日、29日

## Profile

大きく力強いストロークを武器に、背泳ぎと自由形を得意とする。2歳から水泳を始め、本学1年次に日本代表に選抜され、パンパシフィック水泳選手権に出場。女子4×200mリレーのメンバーとして決勝進出を果たし、日本記録をマークし4位に入賞した。2019年の世界選手権では日本女子初の200m自由形で決勝に進出し、リレー2種目で東京オリンピックの出場権獲得に貢献。その後、代表選考会では200m自由形で2位に入り、東京オリンピック競泳女子4×200mフリーリレーで初のオリンピック日本代表メンバーに選ばれた。

夢のオリンピックの舞台に立てるなんて、今でも信じられないような気持ちです。東京大会の延期が決まったときも、今までの努力が決して無駄にはならないと考えて練習に励んできましたが、代表選考会2カ月前のジャパンオープンで思うような結果が出せませんでした。頑張りたいけども頑張れない苦しさ、そんな自分を認めたくなくて泳ぎも一時は不安定になっていました。しかし平井伯昌監督が「ちゃんと向き合え」と叱咤激励してくださったことで、また一から努力をしようと気持ちを切り替え、立ち直ることができました。私の水泳人生ですべてのことが良い経験となっています。

大学の友人や先生方からもたくさんの応援メッセージをいただいているので、大会当日はその期待に応えられるように精一杯頑張りたいです。ベストパフォーマンスを目指し、勇気を与えられるレースをしたいと思っています。

## 酒井夏海選手について

酒井選手は、妹のような存在であり一番のライバルでもあります。隣で練習することも多く、お互いを高め合える関係です。



/NATSUMI SAKAI

## 酒井 夏海 選手

埼玉県 武南高等学校卒業  
法学部企業法学科 2年

競技・種目 競泳/女子4×100mフリーリレー

競技日程/ 7月24日、25日

## Profile

背泳ぎを中心に長身を活かした大きく伸びやかな泳ぎを持ち味とする。兄の影響で6歳から競泳を始め、小学6年生のときにジュニアオリンピック春季大会の50m背泳ぎと100m背泳ぎで優勝。2016年リオデジャネイロ五輪に日本選手団最年少の15歳で出場し、2018年アジア大会100m背泳ぎで金メダル、2020年の日本選手権で背泳ぎ2種目を制し、100m自由形でも初優勝を果たす。その100m自由形での大活躍で代表選考会2位に入り、東京オリンピック競泳女子4×100mフリーリレー日本代表メンバーの座を掴んだ。

新型コロナウイルスの影響で思うように練習ができず、さまざまな大会が無観客で開催されるなど、精神的に万全な状態で取り組めない時期もありました。しかし「やるからには結果を出したい!」と前向きに捉えて準備を進めてきました。これまで当たり前であったことがそうではなくなりましたが、今までは異なる状況だからこそ、今まで以上に多くの感謝の気持ちを持ちながら水泳に取り組むことができていると思います。半年ほど前に平井伯昌監督の担当する日本トップスイマーが集まるチームに合流し、先輩方にたくさんの刺激をいただいて日々頑張っています。

東京大会では、リレーのメンバー4人全員で力を合わせ、決勝の舞台で日本新記録を目指します。東洋大学の代表、そして日本の代表として皆さんにかっこいい姿を見せられるように頑張ります。

## 白井璃緒選手について

白井選手は、水泳に対する考え方や取り組み方がしっかりしていて、とても強い気持ちを持っている方です。本番までお互いに切磋琢磨していきたいと思っています。